

日時：2016年2月19日(金) 10:30～ 場所：京都大学稲盛財団記念館 3F 大会議室

東南アジア地域研究情報資源の共有をめざして -いま、ライブラリアンから伝えたいこと-

企画責任者：大野美紀子(京都大学東南アジア研究所 助教)

## 東南アジア逐次刊行物総合目録データベース

<http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/info/db/sealib/?lang=ja>

このDBは、東南アジア逐次刊行物プロジェクトが編集した「東南アジア研究逐次刊行物総合目録 = Bibliography of Southeast Asian studies related periodicals : union list in Japan」(2009年刊行)から生まれました。

東南アジア研究所図書室では、館内でタブレット端末 iPad mini・iPad air を貸出利用することができます。  
京都大学東南アジア研究所「東南アジア逐次刊行物総合目録データベース」、京都大学図書館検索「KULINE」の検索ツールの利用が可能です。



DBの東南アジア逐次刊行物(雑誌、新聞、年報)の目録収録数は989点、所収図書館数は105館、館蔵所蔵数は3,045点あります。



It's convenient using digital tablet to search Indonesian collections of the CSEAS library.

Layanan digital memudahkan pencarian bahan tentang Indonesia di perpustakaan Pusat Studi Kajian Asia Tenggara, collections of the CSEAS library.

### CONNECTING ASEAN AND JAPAN COOPERATIVE EFFORTS FOR MULTILINGUAL DB THROUGH NETWORKS OF AREA STUDY CENTERS

Serial Publications, such as newspapers and magazines are valuable materials that reflect each nation's society. The efforts for cooperation between library staff and researchers of ASEAN and JAPAN countries beyond the boundary of institutions or nations, is aimed at constructing the system of shared material information, centering on the comprehensive list for the Southeast Asian periodicals DB.



東南アジア逐次刊行物総合目録データベースは多言語DBを利用するために、ipadキーボードツールにタイ語などの言語入力ツールを導入しています。現地語での検索がスピーディにできます。



<http://cseas.net/sealibdb/>

ベトナム図書館など現地で研究者や利用者を中心に調査を行い、利用に対する要望を取り入れています。DBの実用性がより高められるよう研究開発をすすめています。



現在もプロジェクトに参加している国内東南アジア研究拠点図書館のライブラリアンによって東南アジア逐次刊行物データが修正・更新されています。

日本語、英語、タイ語、ベトナム語の他、ビルマ語、クメール語、ラオ語での検索が可能です。

